

令和6年能登半島地震 中間報告会
～能登半島地震で社会福祉関係者が直面した課題と学んだこと～
開催要項

- 1 目的 令和6年能登半島地震等での支援活動を通じて見えてきた課題を明確にするとともに、学び得たことを共有、考察を深める機会といたします。
また、社会福祉関係者が災害支援において果たす役割や今後の展望、新たな連携の可能性を探る場として、多様な視点からの意見交換を行います。
なお、本会として、今後の検証を進めるにあたり、その素材として役立てることを目的に開催いたします。
- 2 主催 社会福祉法人石川県社会福祉協議会
- 3 日時 令和7年5月17日（土）13：00～16：00
- 4 実施方法 ハイブリッド形式
【会場】ホテル金沢 2階 ダイヤモンド
金沢市堀川新町1番1号 TEL：076-223-1111
(混雑することが予想されます。公共交通機関の利用等にご協力ください。)
【オンライン】Zoom
- 5 参加対象 (1) 都道府県・市区町村社会福祉協議会の役職員
(2) 石川県内社会福祉施設職員
(3) 石川県内県・市町行政職員(福祉関係部局、危機管理関係部局 等)
- 6 定員 【会場】250名
【オンライン】500名
- 7 参加費 無料
- 8 講師プロフィール 大橋 謙策 氏
公益財団法人テクノエイド協会理事長、特定非営利活動法人 日本地域福祉研究所顧問、日本社会事業大学名誉教授、元日本社会事業大学学長、日本学術会議第18期・19期会員(2000年～2005年)、日本社会福祉学会会長(1999年～2005年)、日本地域福祉学会会長(2002年～2008年)、近著書『地域福祉とは何かー哲学・理念・システムとコミュニティソーシャルワーク』(2022年、中央法規出版)

9 プログラム

時 間	内 容
13:00～13:20	開会・中間報告 「能登半島地震・奥能登豪雨での石川県社会福祉協議会の取り組み」 説明 石川県社会福祉協議会 専務理事 永下 和博
13:20～15:00 (休憩含む)	シンポジウム 「能登半島地震で社会福祉関係者が直面した課題と学んだこと」 発表者 ○橋本 みすず 氏 (穴水町社会福祉協議会 事務職員) 災害ボラセン・支え合いセンターをととした生活課題の解決、地域づくり ○中橋 和恵 氏 (輪島市災害たすけあいセンター・見守り・相談支援班長) 山路 健造 氏 (" " 見守り・相談支援班生活支援相談員) 輪島市社協のデータを生かした見守り活動と地域づくり ○堀田 直揮 氏 (輪島市 青年海外協力協会・JOCA 理事) 福祉施設を活かした地域づくり ○高堂 泰孝 氏 (珠洲市・能登町 社会福祉法人長寿会 事務局次長) 発災後からの福祉施設の現状と今後の展望 ○西村 里香 氏 (小松市 社会福祉法人自生園 企画部兼南部高齢者総合相談センター 看護師) 石川県DWA T活動から見えた課題と今後の展望 コーディネーター 公益財団法人テクノエイド協会 理事長 大橋 謙策 氏
15:00～16:00	全体討議 「社会福祉関係者は能登半島地震から何を学んだのか」 進行 公益財団法人テクノエイド協会 理事長 大橋 謙策 氏
16:00	閉会

10 お申し込み・問い合わせ先

5月2日(金)までにGoogle フォームまたは2次元コードよりお申し込みください。

<https://forms.gle/M6N5DivWJMA9bdCS8>

石川県社会福祉協議会 災害福祉支援センター

担当/松田・村田 電話 076-224-1212

